

こっこめ通信 09 2018

「台風コリゴリ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信を読み返してみると、この時期は台風のお話ばかり。夏から秋にかけては台風に振り回される時期なんだと痛感しています。今年はその台風によって夏の行事は壊滅状態でした。潮だまり探検隊が2回、夜の昆虫観察会、三原山縦断トレッキング、八丈学講座・川の生きもの観察会と全てが中止となってしまいました。今年は例年になく申し込みが順調で全ての行事が定員に達していたのに…。台風もう来ないでください。

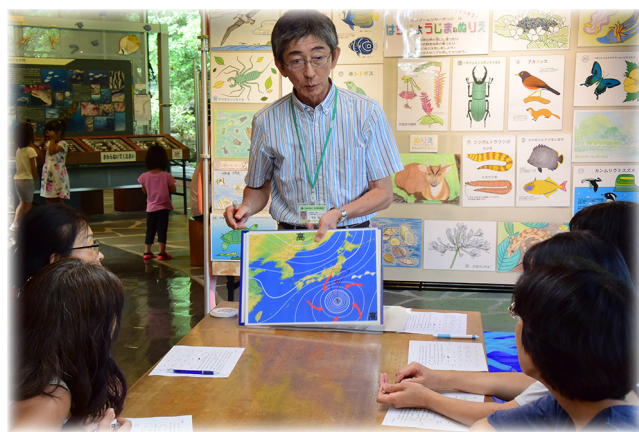
さて、今回は「八丈学講座『台風と島の天気』」「子供クラフト教室の様子」についてのお話です。

八丈学講座「台風と島の天気」

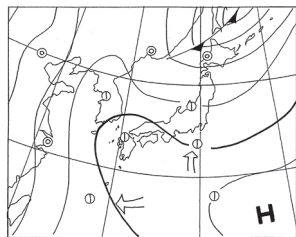
毎月第四土曜日に開催している八丈学講座は、毎回内容を変えて、島の良さを再発見してもらう行事です。8月は「台風の島の天気」についての座学でした。

今月は次から次へと台風が発生し、日本に接近や上陸したこともあり、台風のお話を聞くにはちょうど良かったのですが、ちょっと寂しい5名での開催になりました。

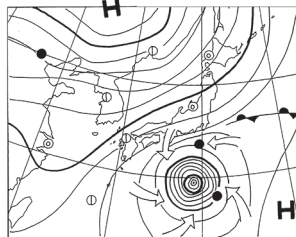
まずは天気図を理解する上で必要な低気圧・高気圧の違いと風の向き（コリオリの力）や前線の種類、天気記号など、天気図中の記号の説明から始まりました。その後、特徴的な季節の気圧配置を見ながら、その時に八丈島がどのような天気なのか？を確認していきました。



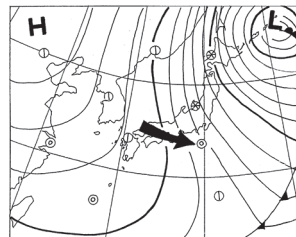
① 夏型 L



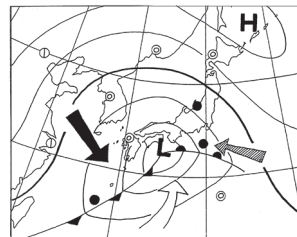
② 台風型



③ 冬型（西高東低型）



④ 南岸低気圧型



夏型①は太平洋高気圧に覆われ、晴天の日が続きます。西高東低の冬型③になると若狭湾から関ヶ原を通過した雲や寒気が海上を通り八丈島に流れ込み、雨や霰が降りやすくなります。その様子を気象衛星や雨雲レーダーの画像でも確認しました。冬型が強くなり北寄りの乾いた風が吹き込み、さらに黒潮が南下し冷水塊に覆われるなど、いくつかの気象条件が揃うと島から富士山が見える話をすると参加者はビックリしていました。また、春先に起こりやすい南岸低気圧④は八丈島の南を通過すると島に雪が降り、八丈島近くを通過すると関東地方で大雪になることがあります。前線通過後に急に風向きが変わるため、漁師さん達は特に注意しているそうです。

台風型②では、台風が島の東と西を通過するのでは風速が違うことを中心に話を進めました。北半球では台風の左側を可航半円と呼び、右側よりも風が弱くなります。しかし進むスピードにより変わるので安心はできません。1975年10月に通過した台風13号は今でも島民の間で恐怖が語り継がれている台風です。勢力が衰えず、島の北側を西から東へ、とても速いスピードで通過したことで甚大な被害が出ました。

台風のコースを知ることによって被害を最小限に抑えることも可能です。この講座で八丈島が台風の右側に入るコースでは特に気をつけなければいけないことを理解してもらえたので、今後の防災に役立てて欲しいです。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

子供クラフト教室の様子

作ってみよう・海の音 (8月19日：参加者10名)

今回のクラフトは、2017年7月に作ったレインスティックと同じ作り方です(こっこめ通信2017年8月号参照)。海の音(波の音)なので竹の長さを2倍以上にしました。

材料は、らせん状に穴を開けた竹、竹串、コルク、麻紐、爪切り、ほか工具です①。この行事は、4年生以上はひとり、3年生以下は保護者といっしょに作ってもらいます。

竹の太さや長さによって作り出される音が違うかもしれないので、まずは子供たちに好きな竹を選んでもらいました。

選んだ後は、ひたすら穴に竹串を刺し、余分を切っていきます。レインスティックの教訓を生かし、今回は竹串の太さをそろえ、少し大きな穴を開けたのでスムーズに進むと思いましたが、用意した爪切りの切れが悪く②、時間がかかってしまった子も。刺し終わったら片方の穴をコルクで塞ぎ、砂を入れます。砂粒の大きさや量で音に違いが出るので、何度も調整しながらの作業です。砂が入ったらもう片方を塞ぎ、装飾をしてようやく完成③。最後にひとりずつ作った海の音を出してもらい、感想を聞いた後に集合写真を撮影し終了しました。



紙すき～自然の色を楽しもう～ (8月26日：参加者3名)

今年の紙すきに使用した自然の色はヘラバヒメジョオン、キフゲットウ、ブーゲンビリアの3色(右写真)、この色水は事前にスタッフが作っておいたものです。

まず参加者には、煮詰めた牛乳パックの薄いフィルムを剥がし、細かくしてもらいました。細かくしたパックはミキサーでさらに細かくしパルプの完成です。それだけではならず、スタッフが事前に用意しておいたパルプも加えて色水に溶かし、さらにその色水にハイビスカスの葉を揉みほぐして作

った糊も加え①、紙料ができあがります。出来上がった紙料の中にすき用の枠を入れて“すき体験②”をしました。初めは上手いかずに何度かチャレンジしていましたね。枠から外し水分をすのこで落とし、ハガキ大の紙が完成します。まだ乾いていないので園芸用の網に乗せて持ち帰り、家に帰って乾かしてもらうことにしました。

夏休み最後のこの行事は体調不良でキャンセルが出てしまい、参加者は3名と少し寂しい行事となってしまいました。しかし、パルプが余ったおかげで、白いハガキをもう一枚作ることができました③。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 8 月 12 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 30 年第 8 回）調査者：青木，沖野，VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			31	ヘラバヒメジョオン	花	8	タチクラマゴケ	
1	アオツツラフジ	花と実	32	ホソバツルメヒシバ	実	9	タチシノブ	
2	アオノクマタケラン	実	33	メヒシバ	花と実	10	タマシダ	
3	アメリカスズメノヒエ	花と実				11	ナチシケシダ	
4	イガガヤツリ	花	木本			12	ナチシダ	
5	イヌガラシ	実	1	イタバカズラ	実	13	ノキシノブ	
6	イヌクグ	実	2	エノキ	実	14	ハカタシダ	
7	イワニガナ	花	3	オオバヤシャブシ	実	15	ハチジョウカナワラビ	
8	ウスベニニガナ	花	4	オオムラサキシキブ	実	16	ハチジョウシダ	
9	ウラジロチチコグサ	花と実	5	ガクアジサイ	実	17	ヒトツバ	
10	ウリクサ	花	6	カラスザンショウ	実	18	ホシダ	
11	オオアレチノギク	花と実	7	サカキカズラ	実	19	ホラシノブ	
12	オオバコ	実	8	シマクサギ	花	20	マメツタ	
13	オニタビラコ	花と実	9	スダジイ	実の虫こぶ	21	ミゾシダ	
14	オヒシバ	花と実	10	タイミンタチバナ	実	22	ヤマイタチシダ	
15	オムナグサ	花	11	テイカカズラ	実	23	ワラビ	
16	キンゴジカ	花と実	12	トベラ	実	今回はシダ植物 23 種を含む、73 種の植物を観察しました。イネ科やカヤツリグサ科が目立ち始め、秋が近いことが感じられました。樹木ではモチノキが当たり年のようで、沢山の実を着けた株が目立ちました。今回は植物に集中したこともあり、動物ではこれといったトピックはありませんでした。		
17	クグガヤツリ	実	13	ハゼノキ	実			
18	ケキツネノボタン	花と実	14	ハチジョウキブシ	実			
19	コナスビ	花	15	ヒサカキ	実			
20	コニシキソウ	花と実	16	ヒメユズリハ	熟した実			
21	コミカンソウ	花と実	17	モチノキ	熟した実			
22	シチトウスミレ	実						
23	シマスズメノヒエ	花と実	シダ植物					
24	セイヨウタンポポ	花	1	アマクサシダ				
25	タチスズメノヒエ	実	2	ウチワゴケ				
26	トウバナ	花と実	3	オオイタチシダ				
27	ノシラン	花	4	オオタニワタリ				
28	ハチジョウアザミ	花、咲き始め	5	オニヤブソテツ				
29	ヒナギキョウ	花	6	カニクサ				
30	ヒメクグ	実	7	スギナ				

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、最近名前が付いた「ハチジョウタツ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウタツ

Hippocampus japonicus

ヨウジウオ科タツノオトシゴ属の魚。ダイバーの間では「ジャパニーズピグミーシーホース」と呼ばれていたタツノオトシゴの仲間。最近、八丈島採集の標本から記載され、「ハチジョウタツ」と正式な名前が付きました。島ではいろいろなダイビングポイントで確認されていますが、大きさが 15mm ほどしかないので見つけにくいです。

2018 八丈ビジターセンター 9 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
						1 ガイドウォーク 02:09 08:22 14:10 20:20
2 ガイドウォーク 02:58 09:23 14:48 20:52	● 3 04:02 10:54 15:41 21:37	4 05:27 13:07 17:28 22:59	5 06:58 14:47 19:49	6 00:54 15:40 21:04	7 02:16 16:20 21:51	白露 8 ガイドウォーク 03:18 10:00 16:54 22:30
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 04:10 10:44 17:26 23:06	● 10 04:58 11:23 17:55 23:42	11 09:20 13:07 17:28 22:59	12 06:58 14:47 19:49	13 07:11 19:09 21:04	14 07:57 19:32 21:51	15 ガイドウォーク 08:47 19:56 22:30
16 ガイドウォーク 02:55 09:52 14:38 20:24	● 17 ガイドウォーク 03:55 11:37 15:28 21:00	18 05:22 13:54 17:47 22:22	19 06:59 14:57 20:15	20 08:11 15:31 21:07	21 09:00 15:58 21:39	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「裏見ヶ滝自然観察会」 03:05 09:39 16:22 22:06
秋分 23 ガイドウォーク 03:45 10:12 16:45 22:32	24 ガイドウォーク 04:22 10:43 17:08 22:59	○ 25 04:58 11:13 17:31 23:27	26 05:33 11:43 17:54 23:57	27 06:10 12:13 18:18	28 06:49 12:43 18:42	29 ガイドウォーク 07:31 13:14 19:07
30 ガイドウォーク 02:28 09:22 14:25 20:04			この色の日 はガイドウォークや 特別行事があります			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
9/9（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「裏見ヶ滝自然観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、中之郷地区の裏見ヶ滝周辺の自然観察会です。
9/22（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
裏見ヶ滝温泉駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.9.1 第208号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

この号を書いている間に、8月9個目の台風が発生しました。気象庁の1951年からの記録では9月・10月は必ず台風が発生しています。今年はいくつの台風が発生し、日本に近づいてくるのでしょうか？もう勘弁して欲しいです。（高）